

令和元年度

事業報告書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

社会福祉法人 紀の川市社会福祉協議会

令和元年度 紀の川市社会福祉協議会事業報告

「ともにささえあい、みんなでつくる福祉のまち」
～希望にあふれ、誰もが安心して暮らせる紀の川市～
の実現を目指して（『第二次地域福祉活動計画』基本理念）

I 法人運営部門

会務の円滑な運営を図るとともに、関係団体との連携を深め活動基盤の強化に努めた。
また、地域福祉活動の貴重な財源となる社協会費の増強に努めた。

1. 理事会の開催

- 第1回 期日 令和元年6月7日（金）
場所 桃山保健福祉センター2階 ピーチホール
出席 理事13名 監事2名
内容 ① 補欠評議員候補者の推薦
② 平成30年度事業報告
③ 平成30年度決算
④ 令和元年度定時評議員会の招集
⑤ 会長の業務報告
- 第2回 期日 令和元年6月25日（火）
場所 紀の川市役所本庁 南別館3階 大会議室
出席 理事15名 監事2名
内容 ① 会長の選任
② 副会長の選任
- 第3回 期日 令和2年3月3日（火）
場所 桃山保健福祉センター2階 ピーチホール
出席 理事13名 監事1名
内容 ① 補欠評議員候補者の推薦
② 定款の変更
③ 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正
④ 経理規程の一部改正
⑤ 令和元年度補正予算（第1号）
⑥ 令和2年度事業計画
⑦ 令和2年度予算
⑧ 利益相反取引及び双方代理となる事項の承認
⑨ 令和元年度第2回評議員会の招集
⑩ 会長の業務報告

2. 評議員会の開催

定 時 期日 令和元年6月25日(火)
場所 紀の川市役所本庁 南別館3階 大会議室
出席 評議員16名 会長 監事2名
内容 ① 平成30年度事業報告
② 平成30年度決算
③ 理事の選任
④ 監事の選任

第2回 期日 令和2年3月23日(月)
場所 紀の川市役所本庁 2階市民協働スペース
出席 評議員15名 会長
内容 ① 補欠理事の選任
② 定款の変更
③ 令和元年度補正予算(第1号)
④ 令和2年度事業計画
⑤ 令和2年度予算

3. 評議員選任・解任委員会の開催

第1回 期日 令和元年6月13日(木)
場所 桃山保健福祉センター 1階 相談室
出席 評議員選任・解任委員5名
内容 ① 補欠評議員の選任

第2回 期日 令和2年3月10日(火)
場所 桃山保健福祉センター 1階 相談室
出席 評議員選任・解任委員4名
内容 ① 補欠評議員の選任

4. 監事会の開催

期日 令和元年5月28日(火)
場所 桃山保健福祉センター1階 相談室
出席 監事2名
内容 ① 平成30年度事業報告
② 平成30年度決算

◇社協会員の募集と会費の徴収

自治区役員や福祉委員に協力をいただき、社協への理解と会費協力依頼を行った。
また、企業や商店を訪問し、更なる会員増強に努めた。(金額:円)

		一般会費	賛助会費	団体会費	特別会費	合計
本年度	口数	2,254	8	2	72	2,336
	金額	6,467,150	24,000	20,000	385,000	6,896,150
前年度	金額	6,384,800	16,000	20,000	440,000	6,860,800

◇寄附金 (金額:円)

	件数	金額
本年度	54	1,173,736
前年度	65	911,169

II 地域福祉活動部門

基本目標1 地域で安心して暮らすための体制整備

地域住民の方々が、安心して日常生活が送れるようサービスの利用援助や地域での生活支援に向けた相談支援活動、情報提供、連絡調整を行った。

相談支援体制の充実強化

○総合相談事業

(1) 心配ごと相談事業

開設日数：51日 相談員数：36名 相談者数：47名

相談内容	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・保健衛生	医療	精神保健	人権・法律	財産	事故	児童福祉 母子保健	老人福祉	苦情	その他	合計
相談件数	3	3	2	4	4	0	1	2	1	0	0	8	0	1	0	8	11	48

(2) 専門相談事業

①弁護士相談 開設日数：12日 相談者数：68名

支所名	打田	粉河	那賀	桃山	貴志川	合計
相談件数	13	14	14	13	14	68

②司法書士相談 開設日数：12日 相談者数：26名

支所名	打田	粉河	那賀	桃山	貴志川	合計
相談件数	6	5	2	2	11	26

(3) 研修会の開催

○心配ごと相談員研修会

期 日 令和2年1月24日(金)

場 所 桃山保健福祉センター

内 容 「傾聴について」

講 師 社会福祉法人 和歌山いのちの電話協会

理事長 安田 始弘 氏

福祉サービスの充実

1. 紀の川市介護予防事業（市受託）

介護予防拠点施設「蛍の里」において、高齢者や障害者を対象に健康の保持と生きがいを支援するサービスを行った。

	本年度	前年度	比較
延べ利用者数	1,185	1,191	△ 6

事業名	実施日	場所	参加人数
ホウ酸団子作り月間	平成31年4月	蛍の里	30
グラウンドゴルフ	全日	蛍の里	延べ835
新聞紙でスリッパ作り月間	令和2年3月	蛍の里	30
大衆演劇ツアー	令和元年12月17日	がんこ座	25
筋力トレーニング	毎週火曜日実施	蛍の里	延べ162

2. 生活福祉資金貸付事業（県社協受託）

安心した生活を送ることができるよう、低所得者世帯、障がい者世帯、又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と相談支援を行うことにより、経済的自立・社会参加の促進を図った。

	本年度	前年度	比較
相談件数	27	42	△ 15
貸付決定	1	0	1

生活福祉資金貸付調査委員会の開催

第1回 令和元年12月18日（水）

第2回 令和2年3月26日（木）

3. 用具貸出事業

延べ貸出件数 141 件 (単位:件)

物品名	打田	粉河	那賀	桃山	貴志川	合計
車椅子	25	6	19	37	20	107
歩行器	0	0	0	2	0	2
高齢者疑似体験セット	0	0	0	4	0	4
輪投げ	7	5	0	16	0	28
合計	32	11	19	59	20	141

情報提供の充実

○広報啓発事業

(1) 社協広報紙「福祉きのかわ」の発行（毎月1回発行 市内全戸へ配布）

(2) 声の広報発行

内容 「福祉きのかわ」「広報紀の川」をカセットテープやCDに録音し、年間延べ47件の必要な方に貸出した。

(3) 社協ホームページの運用 アドレス (<http://kinokawashishakyo.jp>)

権利擁護体制の充実

(1) 事業実績

・専門員数：2名 生活支援員数：20名 (法人後見は除く)

①福祉サービス利用援助事業

項目	本年度	前年度
相談受付	20	16
未契約者への相談	119	43
生活支援員の訪問	658	561
専門員活動としての訪問等	1223	1012
解約	3	4
新規契約	6	3
年度末契約実数	33	30

②日常金銭管理等事業

項目	本年度	前年度
相談受付	0	4
未契約者への相談	0	0
生活支援員の訪問	24	5
専門員活動としての訪問等	73	36
解約	3	1
新規契約	2	3
年度末契約実数	1	2

③法人後見事業 受任実績なし

(2) 研修会等の参加

研修会名	期日/場所	参加人数
福祉サービス利用援助事業 新任生活支援員研修会	令和元年7月2日(火) 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛	3名
令和元年度成年後見制度研修会	令和元年7月25日(木) 県勤労福祉会館プラザホープ	2名
第1回福祉サービス利用援助事業 専門員研修会	令和元年7月31日(水) 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛	2名
令和元年度成年後見制度利用促進に向けた 体制整備研修会	令和元年8月26日(月) 和歌山県民文化会館	2名
令和元年度福祉サービス利用援助事業紀 中ブロック専門員研修会	令和元年9月17日(火) 由良町中央公民館	2名
令和元年度成年後見制度市町村長申立 研修会	令和元年9月27日(金) 和歌山市勤労者総合センター	1名
令和元年度成年後見制度利用促進にかか る圏域別意見交換会	令和元年10月28日(月) 那賀振興局	2名

令和元年度成年後見制度利用促進体制整備研修（基礎研修）	令和元年10月29日（火）～ 令和元年10月31日（木） T O C 有明	1名
令和元年度成年後見制度利用促進体制整備研修（基礎研修）	令和元年11月25日（月）～ 令和元年11月27日（水） OMMビル	1名
令和元年度福祉サービス利用援助事業紀北ブロック専門員研修会	令和元年12月9日（月） 九度山町ふるさとセンター	1名
令和元年度家事関係機関との連絡協議会	令和元年12月16日（月） 和歌山地方家庭裁判所	2名
令和元年度成年後見制度利用促進体制整備研修（応用研修）	令和2年1月21日（火）～ 令和2年1月23日（木） 大阪ベイタワー	1名
令和元年度日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会Ⅱ	令和2年1月29日（水）～ 令和2年1月31日（金） 中央福祉学院ロフォス湘南	1名

基本目標 2 孤立しないためのネットワーク構築

誰もが地域の中で孤立することなく安心して生活することができるよう、地域の絆の再構築を目指し、交流会や食事サービス、ふれあい・いきいきサロンなどを行った。

小地域ネットワークの充実

1. 食事サービス事業

月 2 回実施 延べ配食数 11,794 食 (単位:食)

支所名	打田	粉河	那賀	桃山	貴志川	合 計
本年度	3,202	2,941	1,812	840	2,999	11,794
前年度	3,405	3,026	1,530	742	2,707	11,410

食事サービス包装紙の作成

保育所（園）、幼稚園、小学校、中学校に協力いただき、包装紙を作成した。

2. ふれあい交流事業の開催

SHAKYOフェスティバル2019

期日 令和元年8月3日（土）

場所 紀の川市民体育館

参加 1,312名（内子ども685名）

内容 保育園児の遊戯、高校吹奏楽部の演奏、高齢者の指導による昔なつかしいあそび・防災・点字・手話等の福祉体験コーナーや共同募金や献血等を行うことで地域住民が集い共に楽しいひとときを過ごし交流を図った。

3. お楽しみ食事会の開催

- ① 期日 令和元年10月18日（金）
場所 粉河ふるさとセンター
参加 44名・保育園児52名・先生5名・ボランティア20名・民生委員5名
内容 ボランティア手作りのハヤシライスを囲み、ボランティアによるフラダンスショー、園児の楽器演奏とふれあい遊び等の催しを楽しみながら交流を深めた。
- ② 期日 令和元年10月23日（水）
場所 古和田会館
参加 58名・保育園児29名・先生11名・ボランティア37名・民生委員15名・地域福祉推進委員5名
内容 参加者全員で食事サービスのお弁当を囲み、園児のお遊戯や民生委員の踊りと寸劇、ボランティアによる舞踊、フラダンス、銭太鼓等の催しを楽しみながら交流を深めた。
- ③ 期日 令和元年11月28日（木）
場所 桃山保健福祉センター
参加 33名・ボランティア40名
内容 園児によるお遊戯、ボランティアグループによる大正琴や、朗読グループさわらびによる紙芝居等を楽しみながら交流を深めた。
- ④ 期日 令和2年1月30日（木）
場所 那賀総合センター
参加 40名・保育園児35名・ボランティア32名・民生委員1名
内容 高齢者と保育園児がつどい、園児の和太鼓・劇や歌、ボランティアによる歌や、朗読グループひばりによる大型紙芝居を楽しみながら交流を深めた。
- ⑤ 期日 令和2年2月6日（木）
場所 中貴志コミュニティセンター
参加 66名・ボランティア51名・地域福祉推進委員1名
内容 お弁当を囲み、ボランティアによるダンスやクイズ・ビンゴ大会、押し花はがき作成体験などを楽しみながら交流を深めた。

4. 電話訪問（粉河支所）

毎月1回、ボランティアによる「一人暮らし高齢者宅」への電話訪問を実施した。また、聴覚に障がいのある方にはFAXで安否の確認を行った。

電話訪問時に体調不良や相談ごとがあった方には、民生委員や関係機関等と連携し対応した。

訪問件数725件

5. 見守りネットワーク推進事業

75歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、地域住民の「ゆうあい活動」として誕生日ハガキを送るなどの見守り活動を実施した。

送付数 1, 705枚

6. 家族介護者交流事業（市受託）

（1）介護者教室

高齢化が進む中、介護の問題は特別なことではなく誰もが経験する時代になっており、「認知症になってもならなくても誰もが安心して暮らせる地域に」について情報交換や交流を目的に開催した。

期日 令和元年12月3日（火）

場所 桃山保健福祉センター 2階 ピーチホール

参加 30名

内容 「介護者教室」×「介護セミナー」

○認知症になっても、ならなくても誰もが安心して暮らせる地域に

○簡単にできる体操

○介護食の必要性について

講師 和歌山地域生活相談支援センター 谷 正義 氏

あわじ鍼灸院 淡路 芳久 氏

リトルキッチン 寺田 文子 氏

（2）介護者サロン

在宅介護者の交流の場を確保し、日常の悩みや体験を語り合い交流を深め、日頃の労苦を癒す場を設けた。

・いちごカフェ開設

開設日 毎月第2水曜日 午前10時～午後3時

場 所 貴志川保健福祉センター

利用者 延べ20名

・とんまか喫茶開設

開設日 毎月第3水曜日 午前10時～午後3時

場 所 社協粉河支所

利用者 延べ20名

(3) 介護セミナー

在宅で介護をしている方や介護に関心がある方に対し、介護知識だけでなく参加者同士の繋がりや関係づくり、地域の福祉力を上げることを目的に開催する。

期日	第1回	令和元年5月31日(金)
	第2回	令和元年7月31日(水)
	第3回	令和元年9月18日(水)
	第4回	令和2年2月19日(水)
場所	桃山保健福祉センター	
参加	延べ55名	
内容	地域住民が介護について不安に思っている事を話し合い又、専門職による相談も受ける場として開催し、参加者同士の交流や簡単にできる体操を学んだ。	

見守り体制の充実

○高齢者見守り事業(市受託)

一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯に対し、見守り、安否確認等を実施することにより、高齢者の孤独感の解消及び安心感の提供を図った。

項目	本年度	前年度	比較
年間利用者数	35	32	3
新規利用者数	13	10	3
利用中止数	7	6	1
延べ訪問回数	1,460	950	510

ふれあい・いきいきサロンの充実

閉じこもりがちな高齢者の地域交流の場として、ボランティアの企画運営により小地域の単位(自治区単位)で開催した。

令和元年度には、打田3ヶ所・粉河4ヶ所・桃山1ヶ所・貴志川1ヶ所の計9カ所で新規サロンが設置された。

支所名	打田	粉河	那賀	桃山	貴志川	合計
設置数	18	15	15	13	10	71
開催回数	178	164	59	104	110	615
延参加人数	2,858	2,291	1,211	1,955	1,737	10,052

◎「ふれあい・いきいきサロン」代表者会議

期日	令和2年2月21日(金)
場所	桃山保健福祉センター ピーチホール
参加	94名
内容	助成金やサロンバス運行決定等について説明を行った。 情報交換会 「アイスブレイク・レクリエーション」 「生活支援アンケート結果報告」 「私たちのサロンではこんなええ事やってるよ」 「移動販売の紹介」

基本目標 3 災害に備えた取り組みの推進

自然災害発生後の災害ボランティアセンター設置運営・充実化とボランティア活動上での問題提起や地域、組織、各種団体との連携・協働などを目的とした訓練の実施及び各地区福祉防災ボランティア会の活動支援を行った。

災害ボランティアセンター設置運営訓練

- 期日 令和2年2月8日(土)
場所 貴志川保健福祉センター及び周辺地域
参加 100名(福祉防災ボランティア66名・一般17名・社協職員17名)
内容 ①災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーション(動作確認)
②訪問活動及びアンケート調査(グループワーク)
③サバイバルクッキング(災害時に活用できる調理法)
④防災グッズづくり体験
⑤被災地支援用資機材倉庫(ストックヤード)の在庫確認
⑥炊出し訓練

基本目標 4 地域福祉活動の推進

サマーボランティアスクールや各種講座を開催し、ボランティアの育成、養成を行い、中学生や小学生には福祉体験をとおり、福祉教育の推進に取り組んだ。

ボランティアセンターの機能強化

○ボランティアの登録

- 団体 61グループ 1,194名
個人登録者 59名

児童・生徒への福祉教育の推進

(1) 2019「サマーボランティアスクール」「サマーチャレンジ」

夏休みの期間をボランティア活動推進の好機ととらえ、児童・生徒等が福祉について学びボランティア活動へ参加するきっかけづくりを目的に開催した。

「サマーボランティアスクール」では、全体会でボランティアについて、認知症サポーター養成講座(高齢者理解)、車いすの使い方を学び、その後、高齢者施設・障害者施設でボランティアとして一日施設体験を行った。

「サマーチャレンジ」では、社協食事サービス事業のボランティアが担っている調理の手伝いと、民生委員や配食ボランティアと一緒に弁当配りを行った。

内容 対象	サマーボランティアスクール
中学生	21
高校生	3
合計	24

内容 対象	サマーチャレンジ
小学生	24
中学生	11
合計	35

(2) 福祉教育への支援

高齢者や障がい者に対する理解を深め、助け合い支え合いの大切さをわかってもらえるように、車椅子・アイマスク体験や福祉についての授業を行った。

学校名	期日	学年	人数	内容
中貴志小学校	令和元年6月13日（木）	4年	48名	福祉の話・車イス・アイマスク
	令和元年7月11日（木）			障がい者インタビュー 障がい者スポーツ交流
	令和元年11月26日（火）			地域交流・高齢者インタビュー
調月小学校	令和元年6月20日（木）	4年	19名	福祉の話・車イス・アイマスク
川原小学校	令和元年10月9日（水）	4年	7名	福祉の話・車イス・アイマスク
丸栖小学校	令和元年10月29日（火）	4年	24名	福祉の話・車イス・アイマスク
貴志川中学校	令和元年11月1日（金）	1年	148名	あいサポート 障がい者スポーツ交流
池田小学校	令和元年11月12日（火）	4年	62名	福祉の話・車イス・アイマスク
東貴志小学校	令和元年11月14日（木）	4年	21名	福祉の話・車イス・アイマスク
竜門小学校	令和元年11月15日（金）	4年	20名	福祉の話・車イス・アイマスク
田中小学校	令和2年2月17日（月）	4年	80名	車イス・アイマスク
打田中学校	令和2年2月18日（火）	1年	124名	あいサポート 障がい者スポーツ交流

社会福祉協議会の機能強化

1. 紀の川市生活支援体制整備事業（市受託）

紀の川市における高齢者の生活支援・介護予防等の体制整備に向けた取り組みを推進していくことを目的に、生活支援コーディネーターを設置し住民主体の助け合い活動や多様な生活支援サービスを進めた。

- (1) 協議体会議の開催 7回
- (2) アンケート（ニーズ調査）の集計・分析
- (3) 今ある地域資源を活かした取組

2. 紀の川市つどい場事業（市受託）

在宅の高齢者が気軽に集えるような居場所を提供することで、「生きがいつくり」「仲間づくり」の輪を広げ社会参加を促すことで、閉じこもりや寝たきり、認知症予防となり、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができることを目的に開催した。

名 称	【カフェほほえみの和】
開 設 日	毎月第1木曜日 午後1時～午後3時
場 所	社会福祉協議会粉河支所 1階
内 容	カフェの開催を基本として、脳トレやクイズ、歌声喫茶、防災体験などを行い、誰もが気軽に来て楽しみ、認知症予防にもなっている。
参 加	延べ404名

3. 紀の川市社会福祉法人連携会議の開催

紀の川市内の社会福祉法人が分野の違いを越えて横のつながりをつくり、さまざまな場面で連携して地域づくりを担っていただける関係をつくることを目的に連携会議を開催した。

参加 13法人（16名）

内容 ・地域における公益的な取組について（和歌山県社協からの取り組み紹介）
・情報交換会

その他取り組み

◇共同募金運動への協力

1. 赤い羽根共同募金運動

10月1日から翌年3月31日の間、市内全域で募金運動を実施した。

戸別募金	学校募金	職域募金	街頭募金	イベント募金	他の募金	合計
4,105,497	153,969	283,930	133,391	10,722	34,862	4,722,371

和歌山県共同募金会から、1,787,467円の配分を受け本会の地域福祉事業（ふれあい交流事業・広報紙発行事業）等で活用した。

2. 歳末たすけあい運動

	在宅ねたき高齢者	生活保護受給者	準要保護児童・生徒	災害被災世帯	合計
件数	100	279	500	5	884
配分金額	300,000	1,753,000	1,500,000	100,000	3,653,000

◇リサイクル掲示板事業

資源の有効活用と消費生活の合理化を図ることを目的に実施した。

譲ります	譲ってください	譲渡成立
13件	5件	2件

◇福祉団体活動支援

社会福祉協議会に事務局を置く福祉団体活動の支援を行なった。

老人クラブ連合会

遺族会

母子寡婦福祉連合会

ボランティア連絡協議会

福祉防災ボランティア会

身体障害者連盟

障害児者父母の会

赤十字奉仕団

◇チャリティー事業

(1) 愛の日事業

① 期日 令和元年11月2日(土)～11月3日(日)

場所 打田生涯学習センター 屋外

内容 市文化祭に母子寡婦福祉連合会打田支部と共催で模擬店を出店した。

② 期日 令和元年11月2日(土)

場所 那賀総合センター 屋外

内容 市文化祭にボランティア連絡協議会那賀支部と共催で模擬店を出店した。

(2) 産業まつり事業

期日 令和元年11月24日(日)

場所 貴志川体育館駐車場

内容 市産業まつりに貴志川地区福祉委員会と共催で模擬店を出店した。

◇紀の川市戦没者追悼式

先の大戦において亡くなられた方々を追悼するために実施した。

期日 令和元年9月25日(水)

場所 粉河ふるさとセンター 大ホール

参列者 272名(内、遺族241名)

◇独居高齢者防火診断

火災予防週間に、消防署に協力し、一人暮らし高齢者宅23軒の訪問を行った。

◇マイクロバスの運行

	本年度	前年度
回数	93	92

Ⅲ 在宅福祉サービス部門

(1) 介護保険事業・介護予防事業

①居宅介護支援事業

居宅において日常生活を営むために必要な保健・医療、福祉サービスなどを適切に利用できるよう、要介護者や家族の依頼を受けて、その心身の状況や置かれている環境、要介護者や家族の希望を勘案して、居宅サービス計画を作成するとともに、その居宅サービス計画に基づき指定居宅サービス事業者等と連絡調整を行った。

給付管理 件数	要 介 護						介護予防
	1	2	3	4	5	計	
本年度	444	578	203	186	143	1,554	215
前年度	398	510	212	188	141	1,449	104
比較	46	68	△ 9	△ 2	2	105	111

②要介護認定訪問調査

自宅等を訪問し、心身の状態や日常の生活、家族・居住環境などについて聞き取り調査を行った。

	本年度	前年度	比較
調 査 件 数	27	16	11

③訪問介護事業

介護が必要な方に対し、居宅でその方の有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄及び食事の介護など生活全般にわたる援助を行った。

延べ利 用者数	要 介 護						介 護 予 防			
	1	2	3	4	5	計	要支援1	要支援2	事業対象者	計
本年度	268	243	102	61	56	730	131	275	12	418
前年度	245	195	110	91	77	718	197	412	25	634
比較	23	48	△ 8	△ 30	△ 21	12	△ 66	△ 137	△ 13	△ 216

延べ訪 問回数	介護給付サービス				予防給付サービス
	生活援助	身体介護	身体・生活	計	
本年度	4,118	3,658	4,668	12,444	3,253
前年度	4,872	4,561	3,554	12,987	4,355
比較	△ 754	△ 903	1,114	△ 543	△ 1,102

④通所介護事業

在宅で要介護状態にある利用者に対し、可能な限り自宅で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の援助や機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤独感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的、精神的負担の軽減を図った。

延べ利用回数	要 介 護						介 護 予 防		
	1	2	3	4	5	計	要支援1	要支援2	計
本年度	29	19	12	7	0	67	25	8	33
前年度	824	478	425	393	23	2,143	167	265	432
比 較	△ 795	△ 459	△ 413	△ 386	△ 23	△ 2,076	△ 142	△ 257	△ 399

※令和元年11月から事業を休止

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービスA）

基本チェックリストの基準に該当した方を対象に、利用者の自立に向けた生活支援を行った。

	本年度	前年度	比較
延べ利用者数	231	87	144
訪 問 回 数	1,048	275	773

(3) 紀の川市ほほえみサービス事業

介護保険制度上、提供することができない援助を、本会利用者に関り自費サービスとして行った。

	本年度	前年度	比較
延べ利用者数	66	39	27
訪 問 回 数	291	179	112

(4) 障害福祉サービス事業

①居宅介護等事業

利用者が居宅において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう利用者の身体その他の状況及び環境に応じて、家事や相談など生活全般にかかわる援助や外出時における移動中の介護を行った。

延べ利用者数 267名

訪問回数	家事援助	身体介護	通院介助	同行援護	計
本年度	2,724	779	5	8	3,516
前年度	2,750	748	12	7	3,517
比 較	△ 26	31	△ 7	1	△ 1

②特定相談支援事業

障害のある方等からの相談に応じ、情報の提供や、障害福祉サービス利用計画の作成を行った。

	本年度	前年度	比較
契約件数	50	50	0

③紀の川市障害者地域生活支援事業（移動支援事業）

利用者が居宅において自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう利用者の外出時における移動中の介護を行った。

利用者数 延べ 69名

訪問回数	移動介護	
	身体介護あり	身体介護なし
本年度	540	184
前年度	596	62
比較	△ 56	122

④紀の川市障害者地域生活支援事業(障害者日中一時デイサービス事業)

障がい者に機能訓練や創作的活動等のサービスを提供することによって、自立と社会参加の促進を図った。

	本年度	前年度	比較
延べ利用者数	8	58	△ 50

※令和元年11月から事業を休止

※通所介護事業の廃止について

通所介護事業は、利用者の減少、施設の老朽化等により事業継続が困難であることから理事会で協議し、令和2年3月31日をもって廃止となりました。